

## 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 高見小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

- 本年度の学校の自己評価は、概ね妥当である。
- 研究部を中心とした取り組みの結果、経年テストの結果などから、学力の向上がみられた。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等体力の結果から、全国に比べて走る能力について課題が見られた。
- 遅刻や不登校などの課題は、次年度も引き続き取組んでもらいたい。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：安全・安心な教育の推進

- ① 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87 %以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75 %以上にする。

- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87 %以上にする。

3年 89. 4%	4年 84. 4%	5年 91. 1%	6年 86. 6%
<u>全体 87. 9%</u>			

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75 %以上にする。

3年 95. 5%	4年 73. 5%	5年 92. 8%	6年 62. 7%
<u>全体 81. 1%</u>			

## 取組内容①

- ・児童理解全体会を計画通り実施し、課題のある児童や配慮が必要な児童の情報を共有することで、組織的に連携した支援や対応を行うことができた。
- ・「学校生活の約束」について確認するとともに、日常的に継続して指導したことで、児童の規範意識は高まった。また、学年だよりや懇談等を利用し、保護者に周知したり協力を呼び掛けたりすることで一定の効果があった。

## 取組内容②

- ・学校生活アンケートで「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について肯定的に回答した児童の割合は、学校全体で 89. 2 %であり、指標の 89 %を上回った。

1年 86. 9%	2年 84. 2%	3年 92 %
4年 87. 3%	5年 94. 9%	6年 89. 9%
<u>全体 89. 2%</u>		

- ・各学年の実態に合わせて年間計画を立て、人権教育活動に取り組んだ。
- ・『『学習発表会』において、めあてを達成することができた』と回答した児童の割合は全学年において指標の90%を上回った。

1年 98.5% 2年 92.7% 3年 94.8%

4年 98.3% 5年 100% 6年 96.9%

全体 96.9%

- ・「あいさつ週間」では「あいさつの木」など取り組みを工夫して実施することで、児童がより意欲的に取り組むことができた。あいさつに意識を向ける良い機会となった。

- 達成状況の評価に関しては妥当である。挨拶や遅刻などは、家庭にも責任があるので、TAなどで呼びかける必要がある。
- きまりやマナーに関しては、家庭での指導も必要。

#### 年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度のポイントを維持または向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を36%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を74%以上にする。

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度のポイントを維持または向上させる。

4・5年生が達成（前年度 4年生が達成）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を36%以上にする。

全体 41%（前年度 35.9%）

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を74%以上にする。

全体 65.3%（前年度 73.2%）

#### 取組内容①

学校生活アンケート「国語の授業はよくわかりますか。」

全体：94.0%（中間 92%）

目標通り、年間6回以上の全体での研究授業・研究協議会を行うことができた。特に今年度は交流活動に重点を置いて取り組んできたので、友だちとの対話の中で自分の考えを深めたり広げたりできるようになった児童が増えた。研究教科を国語科に設定し、学校全体で取り組んだ成果が表れたと考えられる。

## 取組内容②

学校生活アンケート「体を動かすことは楽しいですか。」

全体：93.9% (中間 89.3%)

各学期の体育的行事において積極的に参加することができた。がんばりカードを活用することで意欲向上につなげることができた学年もある。

「『体育発表会』では、楽しく取り組むことができましたか。」

全体 96.2%

「『なわとび運動』では、楽しく取り組むことができましたか。」

全体 90.9%

「『かけあし週間』では、楽しく取り組むことができましたか。」

全体 91.6%

- 達成状況の評価に関しては妥当である。教職員の指導の成果が表れた。今後も引き続き指導していって欲しい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%を超えた月が半分以上だった。

学習者用端末活用率（累計 61.5%）

4月	40%	5月	23.8%	6月	68.4%
7月	76.9%	8月	100%	9月	89.5%
10月	59.1%	11月	47.4%	12月	81.3%

- ・年度末までに年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合は100%となる。

## 取組内容①

- ・学校生活アンケート「学習者用端末を活用した学習にすすんで取り組むことができましたか」の項目において、肯定的な回答は全体で94.9%と目標を上回った。

全体 94.9% (中間 91.5%)

「学習者用端末を使った学習は楽しいですか。」の項目に対して、肯定的な回答は、94.3%と高く、楽しく取り組んでいることがわかる。

全体 94.3% (中間 93.5%)

- ・ほとんどの児童が学習者用端末を日々活用することができている。「学習タイム」を「ICTタイム」として設定することで、「心の天気」や「スタサブ」、「ナビマ」に取り組むことができた。また、様々な学習で「スライド」や「Google Classroom」などを活

用する学級も増えた。

「心の天気」については、欠席児童や遅刻児童がいたり、行事などで入力する時間がなかったりして登録率が上がらないときもあった。

学習者用端末活用率

4月	74.	1%	5月	74.	1%	6月	77.	0%
7月	85.	6%	8月	86.	2%	9月	83.	1%
10月	79.	3%	11月	75.	8%	12月	81.	7%

「心の天気」の登録率（全学年）

4月	42.	5%	5月	57.	5%
7月	70.	5%	8月	75.	6%
10月	70.	7%	11月	68.	8%

12月	77%
-----	-----

- ・持ち帰り学習についても、1月末までに目標の15回以上を達成できた学級がほとんどだった。15回に足りない学級でも、2月中に持ち帰り学習を計画してどの学級も15回を達成できるように進めている。

6月～1月からの持ち帰り回数

3年	約13.	7回	4年	20回	5年	19回	6年	19.	5回
----	------	----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組内容②

- ・ICT研修会を年度末までで5回実施することになる。研修内容を業務や日頃の学習に生かすことができている。「スタディサプリ」やExcel、スニッピングツール、「Google Form」、「Google Classroom」など、児童が活用できるようになっているだけでなく、教職員のICT活用力も高まっている。

取組内容③

- ・学校閉庁日を設定したり、ほとんどの教員が年次有給休暇を取得しやすい環境になったりした。
- ・副担任や専科により、仕事が分担されて協業体制が進みつつある。また、場面に応じて校務分掌部会を開くこともあった。

- 達成状況の評価に関しては妥当である。今後も引き続き取り組んでいって欲しい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- 不登校や遅刻などの課題については、引き続きPTAや地域も協力するので取り組んでいって欲しい。
- 昔遊びなどの地域と連携した行事をしていただきありがたい。今後も様々な行事を行ってほしい。